



横浜市立相沢小学校 10月号 R4.9.30

# 学校だより

学校教育目標

学びあい 認めあい 支えあい 夢をはぐくむ あいざわっこ



## きせつ あじ 季節を味わう

こうちょう みやじ  
校長 宮路 ますみ

あき き 秋来ぬと め 目にはさやかに み 見えねども かぜ おと 驚かれぬる (古今和歌集)

げんだいごやく  
(現代語訳)

りっしゅう ひ (立秋の日になっても) あき き 秋が来たと、はっきりと目には見えないけれど、かぜ おと みみ 風の音を耳にすると、あきのおとす 訪れにはっと気づかされる。

この短歌に初めて出会った中学生の時、にほんじん せんさい かんせい かんたん 日本人の繊細な感性に感嘆したものです。しき 四季があるからこそ、ささい きせつ へんか き 些細な季節の変化にも気づく感性が育ったのでしょうか。いま 今のようにごらく すく 楽しみが少なかった時代、ひとびと 人々はしぜん じぶつ 自然の事物をよくかんさつ し、そのよさを味わいながら暮らしを暮らしていたのでしょうか。

あき なつ ふう 秋は、夏と冬というたいぎょく きせつ はざま 対極の季節の狭間にあって、あいまいもこ うつ 曖昧模糊とした移ろいゆく時間のなが 流れをゆっくりとみ 見せてくれるきせつ 季節だと思えます。

子ども達は、ふだんにかと きせわ ひび す 普段何かと気忙しい日々を過ごしています。ときどき た 立ち止まって、うつく つき 美しい月をなが 眺めたり、むし こえ みみ す 虫の声に耳を澄ませたり、すず やかにとお す 涼やかに通り過ぎるあき かぜ からだ かん 秋の風を体で感じたりする時間をもっているのでしょうか。

にんげん かんせい は、ごかん と す 人間の感性は、五感を研ぎ澄ますことによってみが 磨かれていくものです。ゆったりとしたおだ きも 穏やかな気持ちで、ゲームやスマホからはな 離れて、ふぜい あじ きかい 風情を味わう機会をぜひもっていただければと思います。げいじゆつ あき 芸術の秋、

どくしょ あき 読書の秋、あき しよくよく あき 食欲の秋。どれもごかん 五感をかつよう たの フル活用して楽しむものばかりです。子どもたちも、それぞれ「お気に入りの秋」を見つけてほしいものです。10月もあざわ こ 相沢っ子のがんばり 頑張りにきたい 期待しています。